喜多流 自主公演

平成三十年 五月

平成30年 5月27日(日)

12:00開演（11:00開場）

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金：全席指定（税込）

S席 9,000円　A席 8,000円　B席 7,000円

C席（1階桟敷席）6,500円　D席（2階席）6,500円

学生席（2階席）2,500円（25歳以下、要学生証提示）

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力：喜多流職分会

後援：品川区、品川区教育委員会

西王母　長島茂

桜川　粟谷明生

是界　塩津圭介

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ　http://kita-noh.com/

（24時間対応、要登録・無料）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上（ホームページでのweb決済）、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局　TEL 03-3491-8813

（午前10:00～午後6:00　休館日あり）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局　TEL 03-3491-8813

（午前10:00～午後6:00　休館日あり）

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

・開演中の途中入場はお断りいたします。

・未就学児童のご入場はご遠慮ください。

・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。

・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。

・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。

・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。

・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。

・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。

・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り　35,000円

◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。

◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。

◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。

・追加料金はかかりません。

・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。

・年間優待券のみでの観能はできません。

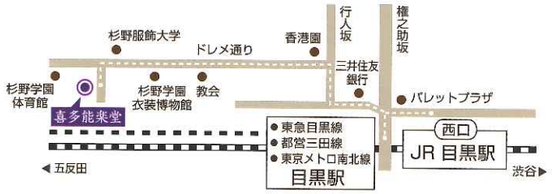
・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。

◆ご利用は、表記年度中（4月～3月）の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内

S席	9,000円	C席（1階桟敷席）	6,500円
A席	8,000円	D席（2階席）	6,500円
B席	7,000円	学生席（2階席）	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※ 当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813　FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: http://kita-noh.com/

五月 自主公演番組

能

西王母

シテ連・侍女 佐藤 陽
後シテ・西王母 前シテ・女 長島 茂
ワキ連・侍人 村瀬 提
ワキ・穆王 村瀬 慧
ワキ連・侍人 矢野昌平
アイ・官人 能村晶人
後見 友枝昭世 松井 彬
大鼓 柿原光博 小鼓 飯冨孔明
太鼓 三島元太郎 笛 槻宅 聡
地謡 金子龍晟 佐藤章雄 谷 友矩 狩野了一 粟谷浩之 出雲康雅 高林昌司 内田成信

休憩（二十分）

狂言

粟田口

シテ・大名 野村 萬
アド・太郎冠者 野村万蔵
小アド・すっぱ 野村万之丞

休憩（二十分）

能

桜川

子方・桜子 大島伊織
後シテ・前同人 前シテ・桜子の母 粟谷明生
ワキ・磯部寺の住僧 森 常好
ワキ連・人商人 工藤和哉
ワキ連・従僧 森 常太郎
ワキ連・従僧 梅村昌功
後見 香川靖嗣 内田安信
大鼓 亀井広忠 小鼓 大倉源次郎
笛 藤田貴寛
地謡 友枝雄太郎 佐々木多門 佐藤 陽 金子敬一郎 佐藤寛泰 粟谷能夫 狩野祐一 大島輝久

休憩（十分）

仕舞

敦盛

松井 彬
地謡 佐藤寛泰 大島輝久 大島政允 友枝真也

能

是界

シテ連・太郎坊 谷 友矩
後シテ・前同人 前シテ・是界坊 塩津圭介
ワキ・比叡山の僧 舘田善博
ワキ連・従僧 高井松男
ワキ連・従僧 森 常太郎
アイ・飯室僧正坊の能力 上杉啓太
後見 塩津哲生 谷 大作
大鼓 亀井洋佑 小鼓 森 貴史
太鼓 小寺真佐人 笛 栗林祐輔
地謡 金子龍晟 高林呻二 友枝真也 中村邦生 粟谷充雄 大村 定 高林昌司 友枝雄人

附祝言

終了予定時刻 五時頃

西王母（せいおうぼ）

周の穆王の時代、一人の女が三千年に一度だけ花が咲き実を結ぶ仙桃の花を帝王に捧げる。帝王は、西王母の園の桃花かと問うが、女はそれに答えず帝王の威光を言祝ぐ。帝王が不審に思って尋ねると、女は西王母の分身であると答え、ひとまず仙界に帰り桃の実も捧げようと言って天に上る。〈中入〉帝王が管絃を奏して待っていると、西王母が真の姿を現し桃の実を捧げ舞を舞い、喜びの酒宴に花も人も酔ううちに西王母は天上へと帰って行く。

（約七十分）

粟田口（あわたぐち）

世間では道具比べが流行り、粟田口を比べることになった大名は、太郎冠者を呼び都へ行って粟田口を求めてくるよう命じます。しかし太郎冠者は粟田口が刀のことだとは知らず、粟田口とは自分の事だと声をかけてきた悪人のすっぱを信じ連れて帰ります。粟田口は人だと聞き大名も驚きますが、粟田口について書かれた物と引き合わせて確認すると、すべて合致します。満足した大名は粟田口を供に連れて出かけますが…。

（約四十分）

桜川（さくらがわ）

九州日向国、桜の馬場に住む桜子は、家の貧困を救うために自分自身を人商人に身売りする。人商人からその代金と手紙を受けった母は、悲嘆にくれ悲しみのあまりに狂気となり、我が子の行方を訪ねるために旅に出る。〈中入〉年月は流れ、桜子は遠く常陸国（主に今の茨城県）の磯辺寺の住職に弟子入りしていた。折しも春の花盛り、住職は桜子らとともに近隣の花の名所、その名も桜川に花見に出かける。折しも桜川のほとりには、長い旅を経た桜子の母がたどり着いていた。狂女となった母は、日向国から我が子を訪ねて来たことや、我が子の桜子の名前の由来を語り、桜川に流れる花を掬って舞い狂う。やがて僧は、この狂女が桜子の母であると悟り、母と子を対面させ、親子は連れ立って故郷へ帰って行くのであった。

（約八十分）

是界（ぜがい）

中国の天狗の首領是界坊は、今も盛んな日本の仏教を妨害しようと志し、山伏姿で日本へやってくる。まず京都の愛宕山の天狗太郎坊を訪れ、その勧めで最初の目標を比叡山に定める。天狗たちは仏法の威力を思うと不安にもなるがともかく初志を貫こうと決意し、比叡山に向かって立ち出る。〈中入〉比叡山の僧が勅命によって車で宮中に向かう行く手に正体を現した天狗が姿を見せ雲中から僧を威嚇する。しかし僧の法力に破れ、不動明王や天部諸尊をはじめ、仏法を守る日本の神々の吹き起こした神風に追われて退散する。超人的な威力のある天狗も仏法の力には屈するというのが主題だが、前場ですでに敗北を予想して弱気になるところが面白い。

（約八十分）

平成三十年 六月 自主公演番組予告

平成三十年 六月二十四日（日）正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

天鼓　中村邦生
百萬　内田成信
船橋　粟谷充雄